



AR*-0M0 0028

取 扱 説 明 書

圧 力 調 整 弁

MODEL

AP100-01~02

SMC株式会社

リリーフ弁

取扱上の注意事項及び故障と対策

AP100-01~02

取扱上の注意事項

I. 取付方法

1. 使用する空気配管はフラッシングを行ってから本器を接続して下さい。配管にゴミ、砂、スケール等が残っていると、作動不良や故障の原因になります。
2. 矢印のある方が空気の入口です。間違いのない様に配管して下さい。反対方向では正常には作動しません。

II. 圧力調整方法

1. 調整ハンドルは右回転で二次側吹出(設定)上昇、左回転で吹出(設定)圧力下降となります。
2. ハンドルの操作は手動で行って下さい。工具などを使用すると故障の原因となります。
3. 調整後はロットナットを締めて下さい。振動などで調圧スクリュが動いて圧力調整が変動することが防げます。

III. その他の注意事項

1. 最高使用圧力 9.9 kgf/cm²以下で使用して下さい。
2. 設定圧力の調整範囲は、0.5~7 kgf/cm²です。

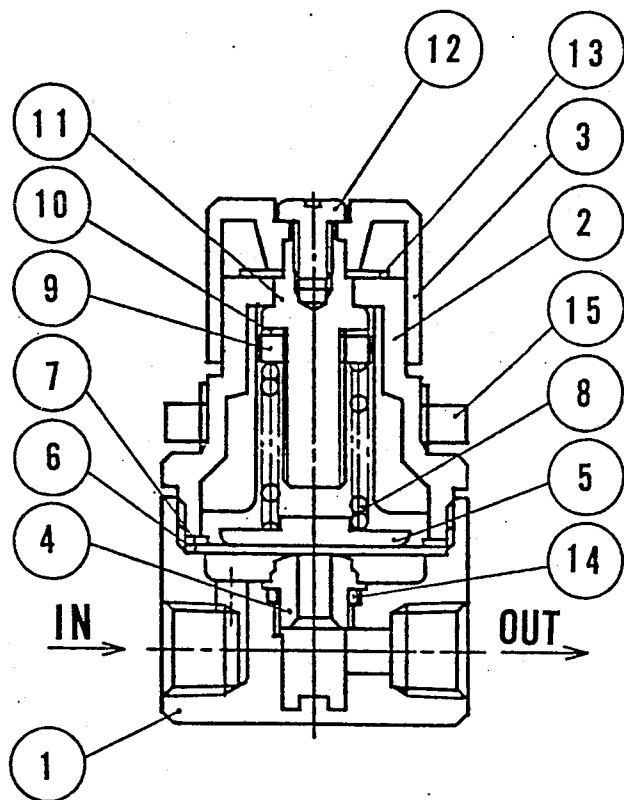
故障と対策

故障と内容	原因	対策
圧力の調整ができない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 流れ方向が反対、取付が反対です。 2. 調圧スプリングが折損しています。 3. バルブシートにゴミが噛んでいます。 4. バルブシートのシート面が負傷しています。 5. ダイヤフラムが破れています。 6. バルブシートにゴミが噛んでいます。 7. バルブのゴムライニング面が損傷しています。 8. バルブスプリングが折損しています。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 流れ方向を確認して、反対ならば再取付をして下さい。 2. 調圧スプリングを交換して下さい。 3. ボンネットをはずし ダイヤフラムバルブシート部を洗浄して下さい。 4. バルブシートを交換して下さい。 5. ダイヤフラムを交換して下さい。 6. バルブ、バルブシート部を洗浄して下さい。 7. バルブを交換して下さい。 8. バルブスプリングを交換して下さい。

故障と内容	原因	対策
ボンネットの小穴からエアが漏れている。	ダイヤフラムが破れています。	ダイヤフラムを交換して下さい。
ボンネットとボディの間からエアが漏れている。	1.ボンネットがゆるんでいます。 2.ダイヤフラムが破れています。	1.ボンネットを締め直して下さい。 2.ダイヤフラムを交換して下さい。

IV. 仕様

保証耐圧力	15	kgf/cm ² (1500kPa)
最高使用圧力	9.9	kgf/cm ² (990kPa)
設定圧力	0.5 ~ 7	kgf/cm ² (50 ~ 700kPa)
使用流体	空気	
周囲温度及び使用流体温度	5 ~ 60℃	
管接続口径	2-Rc(PT) 1/8 ~ 1/4	



番号	名称
1	ボディ
2	ボンネット
3	ハンドル
4	バルブシート
5	ダイヤフラム受ケ
6	ダイヤフラム
7	パッキン
8	調圧スプリング
9	調圧スプリング押エ
10	パッキン
11	調圧スクリュウ
12	十字穴付ナベ小ネジ
13	磨平座金
14	"O"リング
15	セットナット

連絡先 : SMC株式会社 本社・営業本部

〒 101-0021

東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 15階

TEL. 03-5207-8271